

「家族と身近な人との絆を見つめ直す」

3年 M.H

私は言いたいことを言い合え、たとえ喧嘩をしたとしても数分後には自然と仲直りしていた、そんな時に家族との絆を感じます。特にそれを感じるのは長女と家族の誰かが喧嘩している時です。どんなにひどいことを言っても関係が変わらないからです。姉と私は歳が離れているため、私にとって姉は家族でもあり友達でもあるといった存在ではなく、どちらかという保護者のような存在です。姉はアルバイトや大学で忙しく、一日にほとんど会わないことが多かったのですが、何故か私は姉とよく喧嘩をしていました。喧嘩の原因は私が姉の言う事をまに受けスルー出来ない子供だったということと家族限定で無自覚に人をイラつかえる言葉を発する姉の二つが考えられます。このようなことから私は姉が苦手でした。しかし、この間母から姉の高校時代の話聞いた時彼女に対する意識が変わりました。人はつい相手の嫌なところばかり目に入ってしまう。それが苦手な人ならさらに。それは仕方の無いことだと思います。自分至上主義だった昔の私は自分の思い通りに行動しない人を苦手だと避けてきました。しかし恵泉に入学し、色々なタイプの人と接することで私は自分の意見や考えを相手に伝えずにいたことに気が付き、自分から変えていくことが大切だと考えるようになりました。そして、相手のことをできるだけ考えるようにしたのです。〈人が動かない〉なら自分がその人にしてほしいことを伝えられていたか、自分に何が足りなかったのか、どうして動かないのかなどを考えるとすることが大切です。簡単に言えるけど案外難しいことです。私は考え、伝えることに苦手意識を持っています。だからこそ自分が成長するために意見を言える人の存在が大切になってきます。それには絆が必要でしょう。その存在こそが私にとって家族なのです。私にとって家族は居心地の良い場所で、それを作ってくれている彼らには感謝しています。

ところで皆さんに憧れの存在はいるでしょうか？私が理想とする性格の持ち主が私の姉です。先程姉が苦手だったと言いましたが、母と話し姉の長所を見つけ、苦手意識がなくなりました。そして話を聞き私は姉の考えに驚きました。彼女は元々人に対してイラつかないそうです。たとえイラついてそれが表に出ず、人に愚痴ることもありません。だから私達家族は彼女が他人の悪口を言っているところを見ませんし、そんな姉だから喧嘩も長続きせず、数分後には普通に会話しています。彼女によるとイラついてその人に対する悪口を関わりのない人に言って何が変わるの？ということだそうです。これは思ってもなかなか実行出来ないことです。人は全て心に溜めこむとストレスが溜まり、身体に良くありません。だから愚痴るのは仕様が無いことだと思います。これからも人生はまだ長いと思います。今よりも辛いことや理不尽に思うことも沢山起きるでしょう。だから愚痴る相手がいるのは精神の安定を求める上で幸運なことだと思います。しかし姉のようなことが出来たらどんなに生きやすくなるのでしょうか。私は姉の短所ではなく長所を見つけ過ぎやすくなりました。人を嫌うのは体力も時間も使うので私はそんなのは嫌です。しかしこの先つきあうのが無理だと思う人も現れると思います。本当に辛かったら私は出

来るだけ逃げます。しかしそんなことがなくてもいいように人の長所を見つけることで人に対する意識が変わり生きやすくなると私は信じています。

恵泉で、私達は人や自分と向き合う時間を与えられます。私にとってそれは苦痛であり自分を成長させる大事な時間でもあります。今回家族との絆を見つめ直し改めて恵まれていると感じさせられました。一緒に過ごせる間にたくさん話し、互いを思いやり、言いたいことを言い合える関係でありたいと願っています。